

税制改正大綱と2019年度予算

岡田俊明 東京税財政研究センター理事長

削減される社会保障

防衛費は5年間で27兆円

1月12日～13日にけんせつプラザ東京で開催された「いのちのしるしを守る税研集会」で、岡田俊明東京税財政研究センター理事長が行なった、「税制改正大綱と2019年度予算案」と題した講演の一部を紹介いたします。(見出し・文責とも編集部)



講演する岡田さん

軍事費が伸びていることに注意しなければなりません。いくつか問題がありますが、一つは日本の自衛隊が世界で8位だということです。相当な軍事力です。専守防衛といながらも、憲法9条があるにもかかわらず、外に行っていることが暴走は止められています。日米の意思の一致として、北朝鮮問題で動いてはい

るものの、今回のイージスアショアをみても、北朝鮮対応はそのまま引き継がれています。対中、対北朝鮮の日米同盟という線をトランプが要求すれば応じるし、要求されなくても進んで対応しています。切れない連携と総合機動防衛力を柱として、年末、新「防衛大綱」と「中期防衛力整備計画(中期防)」の二つが決まり、5年間で27兆円を使うことが政府方針として閣議決定されました。これに沿って来年度の予算案が組まれています。

表 中期防別表

区分	種類	整備規模
陸上自衛隊	機動戦闘車	134両
	装甲車	29両
	新多用途ヘリコプター	34機
	輸送ヘリコプター(CH-47JA)	3機
	地对艦誘導弾	3個中隊
	中距離地对空誘導弾	5個中隊
	陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)	2基
海上自衛隊	戦車	30両
	火砲(迫撃砲を除く。)	40両
	護衛艦	10隻
	潜水艦	5隻
	哨戒艦	4隻
	その他	4隻
	自衛艦建造計(トン数)	23隻(約6.6万トン)
	固定翼哨戒機(P-1)	12機
	哨戒ヘリコプター(SH-60K/K(能力向上型))	13機
	艦載型無人機	3機
航空自衛隊	掃海・輸送ヘリコプター(MCH-101)	1機
	早期警戒機(E-2D)	9機
	戦闘機(F-35A)	45機
	戦闘機(F-15)の能力向上	20機
	空中給油・輸送機(KC-46A)	4機
	輸送機(C-2)	5機
	地对空誘導弾パトリオットの能力向上(PAC-3 MSE)	4個群(16個高射隊)
	滑空型無人機(グローバルホーク)	1機

るもの、今回のイージスアショアをみても、北朝鮮対応はそのまま引き継がれています。対中、対北朝鮮の日米同盟という線をトランプが要求すれば応じるし、要求されなくても進んで対応しています。切れない連携と総合機動防衛力を柱として、年末、新「防衛大綱」と「中期防衛力整備計画(中期防)」の二つが決まり、5年間で27兆円を使うことが政府方針として閣議決定されました。これに沿って来年度の予算案が組まれています。

予算化されたポイント還元 コンビニ等は消極的 ポイント還元策は法律に何もありません。予算の中にあるだけです。具体的にとのよ

うにやるのかはこれから話めるとい話。新聞にはいろいろ出ています。キャッシュレ

肩透かしの税制大綱 所得税見直しなど先送り

先送りになった関係で、次年度以降の課題とされるものが、①年金課税、②金融所得課税の更なる一体化、③「所得の種類に応じた控除」と「人的控除」のあり方の見直し、

今回の税制改正大綱は肩透かしを食わされています。消費増税に対する増税後の反動減対策がた

控除を次々となくす 所得税でいうとサラリーマンの給与所得控除を下げているという問題であるとか、年金の控除を下げる、お年寄り

生活は困る一方 10%でさらに不景気に

設計・寛豊 安倍政権は昨年10月、今年の10月に消費税を8%から10%に引き上げるよう決まりました。 全世代型の社会保障制度と財政健全化をめざしていくとしています。 30年前、消費税を始めてから、「消費税は社会保障に充てる」「財政再建に充



消費税増税にひとこと

増税分の使途 厳しく監視

電気・高嶺俊一 今年秋の消費税増税を迎え、政府与党は国民の受けをねらい、多くの減税案を提案している。何のために増税をするのか、原点にかえれば、安易に受け目的の案を出すべきではない。少子化・高齢化社会等現状を考えると、一概に反対対

消費税増税は反対 見直すべきは大企業優遇

設計・原島正義 まずは 何はともあれ、消費税増税には声を大にして「反対」します。過去の消費税増税に反対したにもかかわらず、強行値上げされ、国民、消費者の多くの人々はすつと生活防衛が困難にさらされてきているのです。この上また今年10%

増税には賛成ではないが、増税後の増税分の使途を監視していくことも大事な国民の権利であると思